



まちかど



ん にち

初出場で県大会優勝の強力チーム 白根スーパースター(ソフトボールチーム)



フリーバッティングでは、星投手の速球を相手に鋭い打球を飛ばす



ノックを中心に守備固めに力をそそぐ
監督の指導も和やかな雰囲気の中で



カメラに向かって「一番」

七月二十八・二十九日、上越市でソフトボールの県大会が開催され、成年女子の部で、本市から参加した「白根スーパースター」が優勝を飾りました。

このチームは、昭和五十七年に下越地区青年大会の開催地が本市となったことから、地元からも参加しようとして、青年団のメンバー呼びかけで結成されました。

昨年は県の青年大会に優勝し、全国青年大会に進んでいます。そして今年も、国体を目指し、チームも新たに組織化されました。メ

ンバーは十一人と少ないながらも、白根高校ソフトボール部で経験を積んできた人たちが多く、それぞれ青年活動などを活発に行ってきた二十二歳から二十五歳までのフレッシュな女性たちです。

今大会では初出場ながら、星投手を中心とする固い守備で、強豪を下してきました。コーチの田中厚さん(下鷲ノ木)は「とにかく明るいチームで、リードされても試合を捨てずがんばり通す粘り強さも持っています」と話します。

そして、八月二十六・二十七日に石川県で開催される北信越大会に向け、仕事の合間をぬって日曜日夜に練習を行っています。この大会の上位二チームが国体に出られるとあって、力がこもります。

「練習自体はきつくりありませんが、時期的に暑いのがつらいですね。でも、みんなで目標に向かって、元気に練習を重ねています」とキャプテンの狩谷久美子さん(茨)は話してくれました。

なお、本号の発行日には北信越大会の結果が出ますが、県代表として健闘してきてほしいものです。

ヤカタと名付け新飯田を支配

語る人

小林江津美さん(六九)

新飯田地区で一番早く人が住み始めたと言われる館部落。その先祖は、土族丸山家が信州から部下を連れて亡命し、館地区に居を構えてヤカタと名付け、庄屋として新飯田を支配したと言われています。その当時の丸山家の宅地の面積は、二畝もあるまことに広大な屋敷であったと聞かされています。その丸山家の全盛当時、武将新田義定が戦に敗れて亡命し、丸山家に一泊したとき、白い米の飯をこちそうになったそうです。そのあまりのおいしさに驚いた新田義定は、礼として当地を新しい飯の田、すなわち「新飯田」と名付けたという言い伝えが残っています。

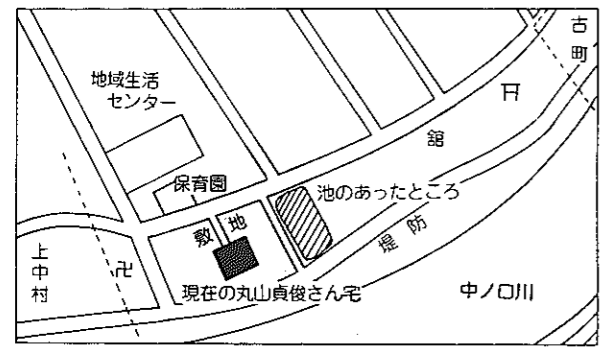
私の思い出 昔のわが街



屋敷の隣りにあった池は埋め立てられ、私が子供のころはすでにたんぼになっていました。北方博物館に行くと、丸山家の図面とか書き物などがたくさんあります。



新飯田館の丸山家



白根 人物伝

★長井 保

白根市旧庄瀬村牛崎の医師である。嘉永年間(一八四八―一八五三年)から子弟を集めて教授した。字は天年、号を松堂、一号を谷神という。

新発田藩医松田竹里に医学を学び、経を丹羽思亭に受けた。文章に優れていたが、寺門静軒が北遊したとき、これを招き、文境はますます進んだ。平生一技一能の士と喜んで交わり、雖田松溪との交わりが最も深かった。

著述が多く、孝経述、論語述、老子述、楽之樓文集などがある。明治十六年に、七十七歳で亡くなった。

(北越詩話、中蒲原郡誌から)

★佐藤 洋之助

実業家。明治二十二年三月二日、白根市で生まれた。

東京高等商業学校を卒業した。東洋綿花、三洋化成工業各常任監査役となり、兵庫県西宮市江上町に住んだ。(新潟県年鑑から)



「私の思い出 昔のわが街」欄へあなたの思い出の場所を。連絡は企画財政課広報広聴係へ。